



文部科学省実践研究充実事業指定校  
平成25年度 京都府立宇治支援学校

# 学校要覧

# 京都府立宇治支援学校

京都府の特別支援教育を牽引し、ノーマライゼーション社会の推進に貢献する学校

## 学校コンセプト

- すべての人がともに支え合って暮らす社会（ノーマライゼーション社会）の推進に貢献する学校
- 市街地の立地条件を生かして、地域との交流を展開し、地域に貢献する学校
- 全室冷暖房、学校緑化、室内温水プールなど、充実した教育環境の学校
- 京都府の特別支援教育の拠点として相談支援、研究・研修支援のサポートを行う京都府スーパーサポートセンターを設置する学校

## 教育目標

"自律" ～生活に生きるすべを学ぶ～

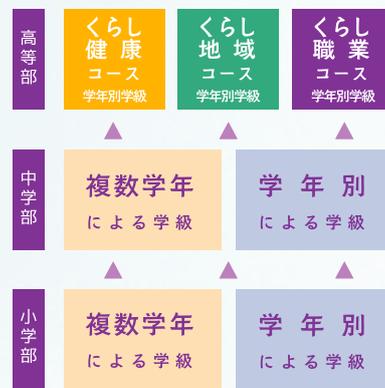
- 宇治支援学校は、一人ひとりの自立と社会参加を実現するために、児童生徒が地域（宇治市・城陽市）と密着した日々の中で、生活する力、働く力といった生きる力を育む教育を推進していきます。
- 日々「わかる授業」を大切にし、自立と社会参加を目指す児童生徒一人ひとりの教育的ニーズにこたえる指導を進め、児童生徒が主体的に活動することにより、可能性を伸ばし、社会に参加する生き方を身につける教育を行います。

## 学びの進め方



- 将来の生活に生きる力につながる内容を「日常生活の指導」「遊びの指導」「生活単元学習」「作業学習」といった「各教科等を合わせた指導」の学習の単元や題材として設定し、年齢や障害の状態、発達段階に応じて指導していきます。
- 「文字」「言葉」「計算」「コミュニケーション」等の教科や自立活動の指導内容を「合わせた指導」として「基礎的な学習の時間」を設定し、日常的に繰り返し取り組む中で生活に生きる学力等を身につけていくことをねらいます。

## 学級編制



- 小学部・中学部においては、卒業後を見据え、その年齢に応じた教育を進めることや、積み重ねを大切にしたい学年別による学級編制を行います。医療的ケアを必要とする重複障害のある児童生徒については、健康・生活・学習リズムの安定を大切に複数学年による学級編制を行います。
- 高等部は、将来の姿を想定した3つのコースを設け、それぞれ学年別の学級編制を行います。

## 高等部の各コース

- くらし健康コース**  
生活の質の向上や地域とのかかわりを広げ、福祉就労など、社会に参加できる力を身につけるコース
- くらし地域コース**  
文化的活動による自己表現の力や福祉就労・企業就労など地域の中でともに活動できる力を育てるコース
- くらし職業コース**  
企業就労を目指し、労働・家庭生活・余暇のバランスがとれた地域生活の確立を目指すコース



# ▼ 学びのスタイル “地域学習”

宇治支援学校では、地域生活につながる内容、生かせる内容としての「地域学習」に取り組みます。



## 地域交流から広がる教育

交流から自立と社会参加を目指してステップアップ

### 地域社会

“地域で生活する”  
（“生活”を学ぶ）

### 地域学習



“地域で遊ぶ”  
（“遊ぶ”を学ぶ）



年間を通して「学校公開」を展開

### 地域社会

- ・ 卒業後を見据えた教育と早期からの地域での体験・実習（企業・作業所・福祉施設等との連携）を推進し、自立と社会参加を目指します。
- ・ 近隣の学校との交流及び共同学習を進め、互いが理解を深め、豊かな人間性を育み、自立と社会参加につなげていきます。



近隣の幼稚園、大学生、地域の皆様とともに楽しい時間を過ごした、総合文化祭「うじえん-JOYフェスタ」

- ・ 地域で生きていくことや地域で働くことを目標に、地域の人との日常的な交流のある授業を展開します。
- ・ 製品販売や接遇、地域清掃など地域に貢献する授業を展開します。
- ・ 「学校評価」を保護者や地域の方々とつながりながら行い、迅速な「授業改善」を目指します。



・ 「地域交流室」では喫茶（カフェ JOY）を設け、地域の方々との交流を進めます。主に高等部生徒が接客の学習を進めます。



・ 地域の公園清掃等、地域貢献活動に取り組んでいます。地域の一員としての自覚を深め、地域で生活する力、働く力を育みます。



・ 「音楽堂」では、児童生徒が音楽・ダンス等の発表を行ったり、地域の方の発表を鑑賞したりと、楽しさあふれる交流を展開します。



・ 「地域文化学習室」では、茶室を設けるなど、地域の文化を学ぶ学習を地域の人材の力をかりしながら進めています。

## 標準校時表

	小学部	中・高等部	月	火	水	木	金
登校	~8:50						
1校時	8:50~ 9:00	8:50~ 9:00					
	9:00~ 9:45	9:00~ 9:50					
2校時	10:00~10:45	10:00~10:50					
3校時	11:00~11:45	11:00~11:50					
4校時	11:50~12:20	11:50~12:20					
給食							
5校時	13:20~14:05	13:20~14:10					
	14:15~15:00	14:10~14:40					
6校時	15:00~15:10	14:40~15:10					
	15:10~						
下校	15:10~						
部活動	~16:10						

- ・基本となる学習時間を45分・50分と設定しています。
- ・自主通学生については、放課後の課外活動として部活動を設定しています。
- ・部活動の曜日は、火曜日 水曜日 木曜日の週3日を基本としています。

## 年間行事

学期	月	行事	前期	後期
1学期	4月	1学期始業式・入学式 第1回学校公開 / PTA総会	▲	
	5月	進路説明会 家庭訪問		
	6月	第2回学校公開「小学部プレイフェスタ」 学校説明会 / 高等部修学旅行		
2学期	7月	第3回学校公開 1学期終業式		
	8月	前期末懇談会 2学期始業式		
	9月	第4回学校公開「中学部スポーツフェスタ」		
	10月	小学部修学旅行 / 中学部修学旅行 学校説明会・体験学習(小①②・中①・高) 「高等部スポーツフェスタ」		
	11月	学校説明会・体験学習(中②) 第5回学校公開「うじえん-JOYフェスタ」		
3学期	12月	第6回学校公開 2学期終業式		
	1月	3学期始業式 第7回学校公開 高等部入学相談(選考) 小・中学部入学相談①		
	2月	小・中学部入学相談②③ 第8回学校公開		
	3月	年度末個人懇談 / 卒業証書授与式 修了式 / 入学説明会		

※予定(各学部の目標・内容により変更する。)

## 各学部の教育課程

### 小学部 - 遊びを創ろう! -

- ・「遊びの指導」を学習活動の中心に捉え、身体を育てることや、実際の生活の場面で体験的に学び、人とつながる力をつけます。



#### 小学部(重複)

校時	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導				
2	自立活動				
3	特別活動	遊びの指導			
4	日常生活の指導				
給食					
5	日常生活の指導				
6	日常生活の指導				

#### 小学部(知的障害)1年~4年

校時	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導				
2	遊びの指導				
3	日常生活の指導				
4	日常生活の指導				
給食					
5	日常生活の指導				
6	日常生活の指導	特別活動			

※各学部の教育課程(学年抜粋にて)を紹介しています。  
※「基礎的な学習の時間」は「日常生活の指導」において行います。

### 中学部 - 生活を学ぼう! -

- ・「生活単元学習」を学習の中心に捉え、仲間と目的を共有することや、力を合わせることを学び、地域・家庭生活を自分で広げる力をつけます。



#### 中学部(重複)1年

校時	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導				
2	自立活動				
3	生活単元学習				
4	日常生活の指導				
給食					
5	生活単元学習	総合的な学習の時間	特別活動		
6	日常生活の指導				

#### 中学部(知的障害)1年

校時	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導				
2	生活単元学習				
3	日常生活の指導				
4	日常生活の指導				
給食					
5	生活単元学習	体育	音楽	美術	総合的な学習の時間 特別活動
6	日常生活の指導				

### 高等部 - 働き(役に立つこと)を楽しもう! -

- ・「作業学習」を学習の中心に捉え、「働く」ということや、つけてきた力を場面や状況に合わせて使うことを学習し、地域で生きる、働く力をつけます。



#### くらし健康コース

校時	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導				
2	生活単元学習/作業学習				
3	日常生活の指導				
給食					
5	自立活動				
6	日常生活の指導				

#### くらし地域コース

校時	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導				
2	作業学習	体育	作業学習	美術	生活単元学習
3	音楽				
4	給食				
5	作業学習	生活単元学習	作業学習	総合的な学習の時間 特別活動	生活単元学習
6	日常生活の指導				

#### くらし職業コース

校時	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導				
2	作業学習	音楽	美術	生活単元学習	
3	日常生活の指導	作業学習	美術	生活単元学習	
4	生活単元学習	総合的な学習の時間 特別活動			
給食					
5	作業学習	保健体育	作業学習	生活単元学習	生活単元学習
6	日常生活の指導				

## ▼ 部活動について



球技部



文化部



卓球部



パソコン部

- ・放課後の課外活動として部活動を行います。対象は、中学部・高等部の自主通学の生徒で部活動を希望する者とします。
- ・部活動については、球技部、文化部、卓球部、パソコン部の4つの部を設けています。
- ・部活動を通して自主的、自発的に行動する態度や連帯感、責任感を養い、「自律」を目指します。

## ▼ 制服等について



- ・ブレザー
- ・ホワイトシャツ
- ・スカート・ズボン



襟元に「UJI」の刺繍が入ったノーネクタイスタイル。

### 「制服」

- ・中学部から導入し、登下校、式典、就職活動等で着用することとします。
- ・宇治支援学校の生徒であると自覚・誇りを持つことや、公の場を意識し行動できる力を養います。
- ・宇治支援学校の生徒であることを地域に知ってもらい、安心・安全の確保につながります。



### 「体操服」

- ・小学部から導入し、主に体育等の場面で着用します。
- ・場に応じて衣服を更衣することで、学習に見通しを持って行動できる力を養います。また、動きやすい服装になることは、安全の確保にもつながります。



### 「作業服」

- ・中学部から導入し、主に作業学習の場面で着用します。
- ・場に応じた衣服に更衣することで、主体的に行動することや、就労を意識し活動する力を養います。また、活動しやすい服装になることは、安全の確保にもつながります。

## ▼ 通学について

- ・『**自主通学**』 (対象:中学部・高等部)  
公共交通機関(電車・バス)を利用して通学したり、自転車で通学します。
- ・『**スクールバス通学**』 (対象:全学部)  
各バス停と学校をつなぐスクールバス(8台)を利用して児童生徒が通学します。

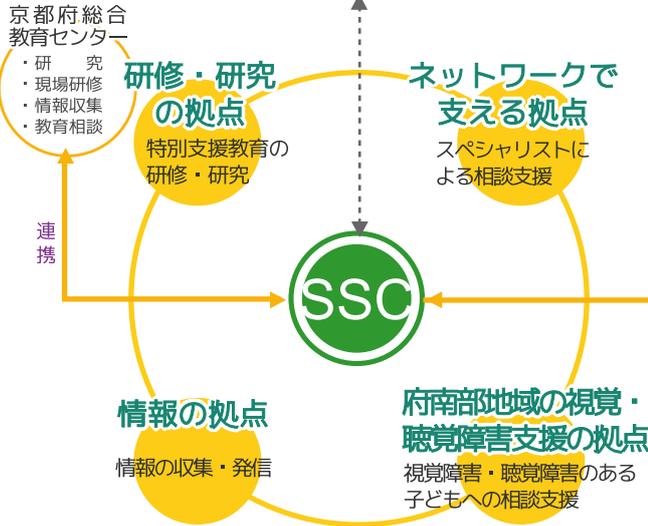
平成25年度 バスコース



# 京都府スーパーサポートセンター(SSC)

## 京都府スーパーサポートセンター (SSC)

・京都府の特別支援教育の拠点である宇治支援学校内に設置し、研修・研究や専門家チームによる相談支援、視覚、聴覚障害のある子どもへの学習や生活の相談支援を行います。

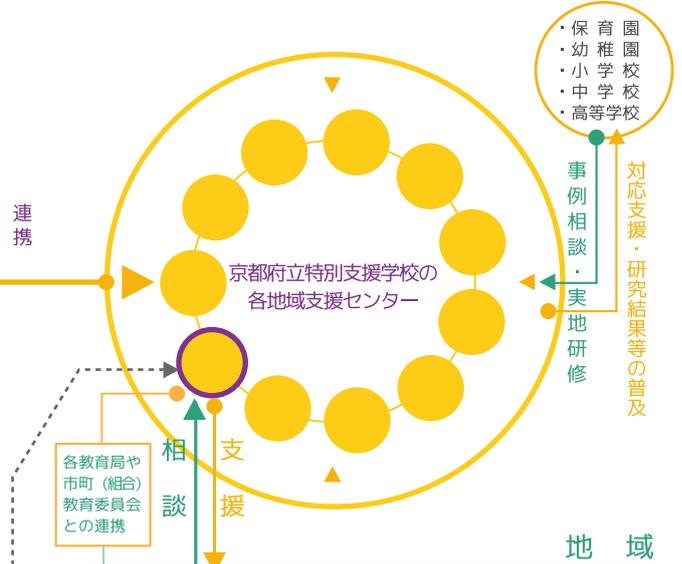


### 地域支援センターうじ

・宇治支援学校では、地域の先生方、保護者、本人のニーズにこたえる「地域支援センターうじ」を学校内に設置し、巡回相談等、地域の学校等での困り事への相談支援や研修等を専任のコーディネーターが主に行います。

## 京都府立特別支援学校の各地域支援センター

平成19年4月から「特別支援教育」が学校教育法に位置づけられ、すべての学校において、幼児児童生徒の支援を更に充実していくこととなりました。また、特別支援学校は、地域のニーズにこたえて様々な相談サービスを展開しています。



### 地域

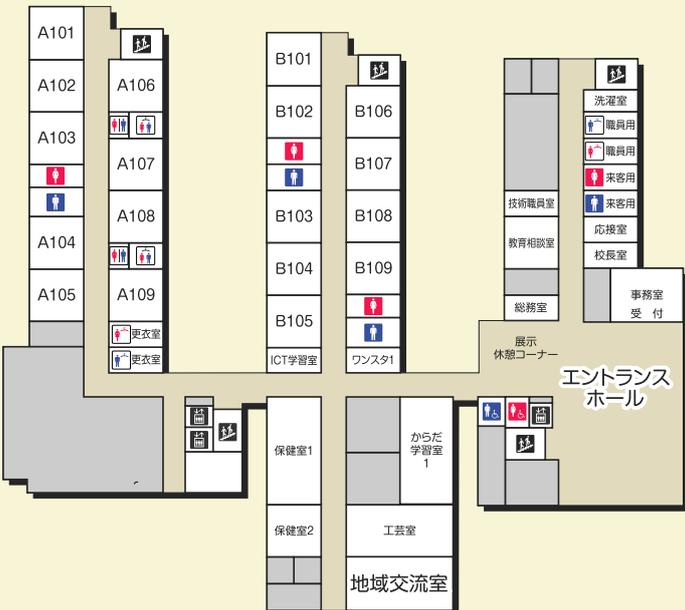
## 施設紹介

### 1F



◆「源氏物語ゆかりの花々・木々」  
みどり香る空間を演出 (環境大臣賞受賞)

◆「エントランスホール」  
通称"サーカスストーリー"ゾーン

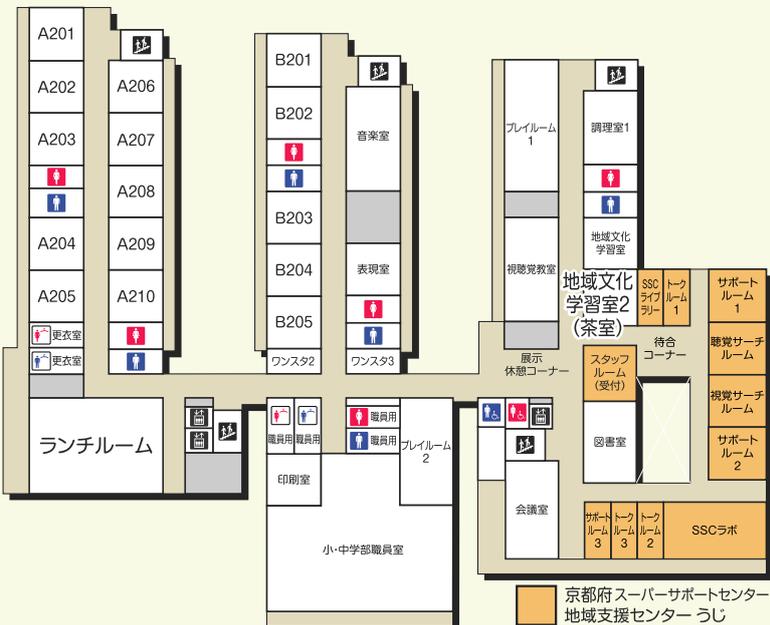


### 2F



◆「ランチルーム」  
集団での食事マナーを学習します。

◆「地域文化学習室2」通称"茶室"  
地域の文化を地域の方々と学びます。



京都府スーパーサポートセンター  
地域支援センターうじ

## ▼ 学校概要

### ▼ 通学区域

宇治市・城陽市

### ▼ 障害種別 / 設置学部

知的障害・肢体不自由 / 小学部・中学部・高等部

### ▼ 敷地面積 / 施設規模

約22,421㎡ / 校舎・体育館等 約15,657㎡

### ▼ 通学方法

スクールバスを8台配備（一部公共交通機関による自主通学）

### ▼ 児童生徒数（5月1日現在）

	小学部	中学部	高等部	合計
宇治市	58	41	53	152
城陽市	31	20	30	81
合計	89	61	83	233

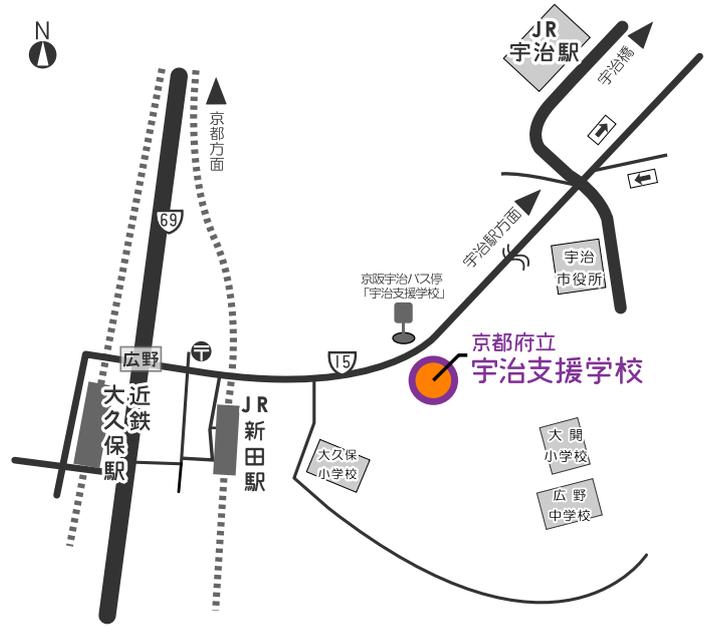
### ▼ 教職員数（5月1日現在）

校長1名 / 副校長2名 / 事務長1名 / 総括主事4名  
 教諭145名 / 養護教諭2名 / 栄養教諭1名 / 常勤講師10名  
 非常勤講師14名 / 事務職員4名 / 実習助手4名 / 技術職員2名

合計 **190名**

※学校医（内科・整形外科・眼科・耳鼻科・神経科・歯科・薬剤師）7名

## ▼ アクセスマップ



▼ JR奈良線 - 新田駅から徒歩約8分

▼ 近鉄京都線 - 大久保駅から徒歩約12分

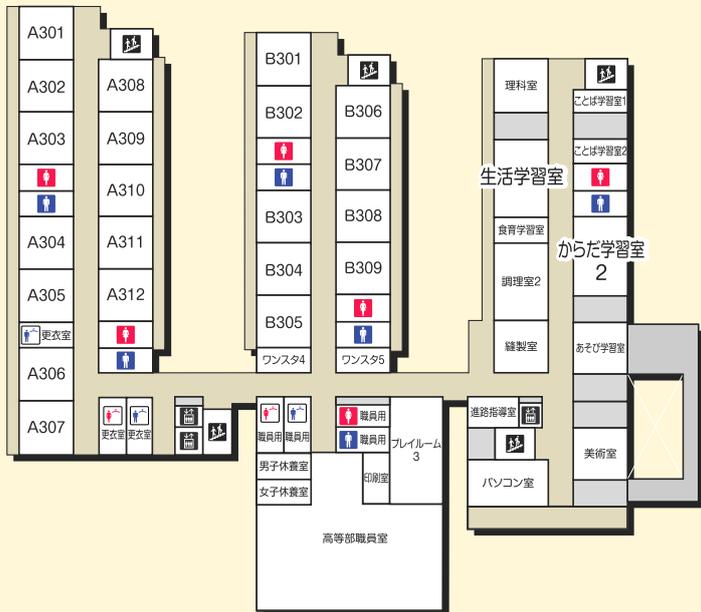
▼ 京阪宇治バス - JR宇治駅バス停から宇治支援学校バス停まで約7分

## 3F



◆「生活学習室」  
家庭生活に必要な力を身につけます。

◆「からだ学習室2」  
身体運動能力の向上を図る学習室



## 4F



◆「ミニプール」  
屋外プールだけでなく、全天候型の屋内温室ミニプールを設置しています。

## 全体



◆「職業棟」  
通称「宇治支援生活工房」  
木工室・窯業室と外には農園実習場を設置



## 沿革

- 平成21年4月1日 宇治・城陽地区新設特別支援学校準備委員会発足
- 平成22年4月1日 京都府立桃山養護学校内に京都府立宇治支援学校開設準備室設置  
室長 松本 公雄 他9名
- 平成22年9月1日 京都府立宇治支援学校開設式  
京都府立高等学校等設置教令の一部を改正する条例（平成21年京都府条例第36号）第2条の規定により、京都府立宇治支援学校設置  
初代校長 松本 公雄
- 平成23年1年11日 「みどり香るまちづくりコンテスト」環境大臣賞 受賞
- 平成23年4月1日 京都府立宇治支援学校 開校
- 平成23年4月13日 竣工・開校入学式
- 平成23年4月28日 京都府スーパーサポートセンター開設式
- 平成23年9月23日 「カフェ JOY」オープン
- 平成24年4月1日 第2代校長 澤田 均 就任

## 校章



- ・「宇治」をアルファベット「U」「J」「I」で組み合わせたシンプルな構成
- ・京都府を表す「紫」と宇治市の花である「やまぶき」の2色を基本とする。
- ・「U」の右下で宇治川の流れを示すスリットを入れ、「J」を表した。「I」は小文字の「i」とし、子どもたちの姿を表している。
- ・中央のデザインのアルファベットは「i」は自律を目指す子どもたちが地域で力強く生きていく姿を象徴している。

## 校歌

喜びはともにあること

さくら咲く 宇治

狭霧<sup>ささぎ</sup>たつ川の流<sup>なが</sup>れのほとり

静かな朝の光に集<sup>あつ</sup>う

わたしたちはひとつ

学んでいる 日々

生きている 美しく

喜びは ともにあること

おお 紫<sup>むらさき</sup>ぞ匂<sup>にお</sup>う

宇治支援学校

わたしたちの誇り

松本公雄 作詞  
榎田睦之扶 作曲

喜びはともにあること

# 京都府立宇治支援学校

〒611-0031 京都府宇治市広野町丸山10

TEL 0774-41-3701 / FAX 0774-45-2220

ホームページ <http://www.kyoto-be.ne.jp/uji-s/>

